

### I 特集：第105回 全国高等学校野球選手権記念茨城大会に向けて

#### 1. ごあいさつ

**御厩 祐司** 水戸一高・附属中学校校長

##### 光に向かって

本年4月より校長に就任しました御厩(みまや)と申します。出身は香川県高松市。巨人の王選手がホームラン世界一へと近づいていた小学生の頃、少年団で野球をやりたかったのですが、お金がなく、世話に帯同してくれる親もいなかったので、泣く泣くあきらめました。家庭環境により子どもがやりたいことを断念せずに済むようにする。これは、部活動改革でも譲れない点だと考えております。

出身高校は高松高校です。本校と同じく旧制一中で、硬式野球部は明治29年創部。甲子園に春夏各4回出場し、ベスト4(夏2回)が最高成績です。直近の出場は平成17年春(21世紀杯)。早大に進み、巨人や西鉄などの監督を長く務めた三原脩が野球殿堂入りしています。

私はこれまで教育行政の世界で働いてきましたが、野球と深く関わったのは、愛媛県教育委員会保健スポーツ課長を務めた時期(平成13~14年度)です。愛媛は野球熱が非常に高く、県大会初戦は全校が全校応援していました。私が課長・高野連顧問を務めた2年間は、夏の甲子園で県立の松山商、川之江高がベスト4に入り、エースがドラフト指名されプロに進み、地元出身の正岡子規が野球殿堂に入り、「坊ちゃんスタジアム」が開業、そこでオールスターゲームが開かれた時期でもありました。今回、子規の球友であった菊池謙二郎が校長を務めた本校で働くこととなり、不思議なご縁を感じております。

本校では、今年度より附属中学に全学年が揃ったことも踏まえ、水府倶楽部船橋様をお迎えし、中1に「飛田穂洲、そして水戸一高」と題した講演をしていただきました。これからも伝統ある野球を活かし、人間教育を進めてまいります。

硬式野球部の諸君は、全校一さわやかな挨拶ができていますと感じております。これも皆様方のご指導の賜であり、深く感謝申し上げます。部員には、「一級入



魂」で、一つ一つの授業に全集中で臨み、「学びに向かう姿勢」でも全校生徒を圧倒してほしいと思います。

光に向かえば陰はついてきますが、光に背を向け陰ばかり追いかければ光からどんどん遠ざかってしまいます。人間的成長が光、競技結果が陰です。穂洲先生の教えを胸に、光に向かって、トータルの人間性(知徳体)を磨いていく部員たちを全力でサポートしてまいります。皆様方のご指導ご支援を切にお願い申し上げます。校長就任のご挨拶といたします。

**高村 祐一** 前水戸一高・附属中学校 校長

このたび晴れて三の丸倶楽部に入会させていただきました。校長として在職した4年間、硬式野球部に対する多大なるご支援をいただきました当倶楽部会員の皆様、並びに関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。



私自身は中学・高校・大学時代は柔道に励んでいましたので、野球とは全く無縁でした。息子が小学5年の時にリトルのチームにお世話になってから野球との関わりが始まり、高校卒業まで8年間の追っかけ生活を経験いたしました。息子は中学生の時はピッチャーでしたので、ビデオカメラを購入し、毎試合撮影をすることが役目でした。高校になると怪我が多く、3分の1はリハビリ状態でしたが、チームに献身的に貢献する姿に人間的な成長を感じていました。練習試合のホームランを生で見ることができたことや、同学年が30名弱いる中で、背番号20番をいただけたことが父親としての喜びでした。唯一の心残りは、2年生の秋に県大会ベスト4に入りながらも、諸事情により21世紀杯に推薦されず、春の甲子園選抜大会に出場することができなかったことです。現在私は、知道会柔道部OB会会長の身でもあり、母校柔道部の復活を模索しているところでもあります。

さて、特色選抜の導入に当たっては、当初令和6年3月入試からと考えていました。外部からの入学者定員が4クラス160名になることで団体スポーツの維持に不安を抱いていたからです。特に野球に関しては、



学生野球の父である飛田穂洲先生の母校であり、野球の火を消すことはできないと感じていました。幸いにも令和2年・3年の野球部の活躍が弾みと

なり、導入の機運が高まってきたと感じました。さまざまなご意見をいただきながらも、挑戦してみることにの意義や価値を職員の皆様に理解していただき、導入に至った次第です。

現在、教育の現場では教員の働き方改革や部活動のあり方について方向性が示され、特に県立高校で部活動に本気で取り組みたい生徒には、練習時間の上限の設定により逆風が吹き荒れている様に見られています。確かに、練習試合を通しての技術力の向上や戦術の確認を含めた経験値の積み重ねにはマイナスかもしれません。特に野球に関しては、そこから得られる経験は非常に大きいものと私も認識しているところで、しかしながら、体力向上や怪我防止の観点からは、プラスの面も少なからずあるようにも思われます。今後より一層の練習の効率化、生徒自身、保護者、指導教員および支援する私たちも含め意識改革が求めら



#### 部活動上限例外措置について

県教育委員会は6月1日(木)に公立高校の部活動制限について今夏以降に運用する例外措置を発表した。読売新聞茨城版に掲載された記事の要点は以下のとおり。

- (1) 校長が妥当性を審査した活動計画、生徒・保護者・指導者の同意書を部活動ごとに県教委へ申請
- (2) 申請には日本スポーツ協会公認指導者の確保、けが防止への環境整備が必要
- (3) 県教委は6月から申請を受け付け、外部の有識者を交えた審査会で審査し、7月にも可否を通知

## 2. さあ行こう、僕らの夢へ

### 監督 木村 優介

#### —監督挨拶および指導方針—

寒い季節に元気のない植物たちが、この季節になるとめきめきと葉を伸ばします。まるで大会を目前に控えた高校球児の成長に似ています。「何も咲かない冬の日には下へ下へと根を伸ばせ。陽が当たる日のために」。この言葉を思い出させると共に、「また夏がきたか」と身が引き締まります。



れているのかもしれませんが、6月末までには、県教育委員会が特例の条件等を示すという報道がありましたので、それを見守りたいところです。いずれにしても、水戸一高硬式野球部の甲子園出場を願い、会員の皆様とともに可能な限りの支援をしていく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

### 野々下 奈都子 硬式野球部顧問

今年度4月に水戸一高硬式野球部の顧問を拝命いたしました野々下奈都子と申します。本校に赴任して2年目になります。



令和4年に卒業しました息子が在学中は、三の丸倶楽部の皆さまをはじめ、関係者の方々には大変お世話になりました。お陰さまで、本人も保護者の私

たちも、実り多い3年間を過ごすことができました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。そして、こうしてまた違った立場で、伝統ある水戸一高硬式野球部と関わる機会を得ましたことを、大変光栄に思っております。憚りながら、部員たちや指導者が安心して野球に専念できるよう、学校生活全般でサポートできればと思っております。

2年目の特色選抜入試を経て、今年度新たに13名の新人部員を迎え、チームはさらに活気にあふれ、さらなる高みを目指して邁進しております。「水戸一高を4度目の甲子園へ」水戸一高の職員として、そして三の丸倶楽部の会員として、彼らの活躍に大いに期待しております。

微力ではございますが、水戸一高野球部の発展のために全力を尽くして参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

水戸一高野球部は、毎日充実した練習と学校生活を送ることができております。これも一重に三の丸倶楽部の皆様及び関係者の方々の多大なるご支援ご協力のお陰であります。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

監督就任時より、「目的はリーダーとして的人格形成、目標は甲子園出場」を掲げてチーム運営に携わってきました。かの有名な経営者、稲盛和夫氏は「自我があってもいい。しかしその自我が真我を上回ってはいけぬ」との言葉を残しています。組織理念を越えてまで目標を達成することは目的ではありません。しかし、「目的」が「目標」達成の為の努力をしなくてもよい、という理由になってはいけません。この、「目的」と「目標」を追い求める『バランス』が本当

に難しく繊細なものです。この均衡は本校にとって難題であります。必ず背負い向き合わなくてはならない宿命であります。特に野球と、勉強・社会活動との『バランス』です。いずれの時代においてもそうですが、今の選手・マネージャー達は、周囲からの要求レベルが、私たちが高校生だったときよりも厳しく、測り知れない様々なプレッシャーと闘っています。戦績への期待、学業への取り組み、周囲への活性化…しかし、そのプレッシャーと対峙したとき、水戸一高のレッテルに巻かれることなく、本当の意味で自分たちが水戸一高の誇りを持ちながら、どんなことにも闘っていけると信じています。今現在、部員たちは本当によく向き合おうとしてくれています。「鍛錬千日乃業、勝負一瞬乃業」の精神で、全員で自分の限界と向き合っていきます。



#### —茨城大会に向けて—

今年のチームは3年生4名(マネージャー1名)、2年生13名、1年生11名(マネージャー2名)の選手28名、マネージャー3名で構成されます。

チームポイントは2つです。1つは「3年生の存在」です。激動の3年間を過ごしてきた3年生が、最後どのような姿勢をみせてくれるか、様々な立場で、様々な場面で、『想い』をどのように表現してくれるのか、これがチーム最後の成長のカギになります。

もう1つは「2年生のチャレンジ精神」です。スターティングメンバーは2年生を中心に若い選手が大半を占めます。まだ粗削りなところはありますが、失敗を恐れず、失敗の上からでもチャレンジする『勇気』を出せることが2つ目のポイントとなります。

本校は高校野球の師、飛田穂洲先生を輩出し、石井連蔵氏が殿堂入りを果たし、昨年は野球殿堂150周年記念で聖地にも選ばれました。先人が築いた伝統を忘れず、紡ぎ続ける為にも『高校野球の源』とも言える本校野球部が、「熱い高校野球」を繰り広げたいと思います。「一戦必勝」応援どうぞよろしくお願いいたします。

### 3. 茨城大会組み合わせ

水戸一高の初戦は以下のとおりです。応援よろしくお祈りいたします。

- ・ 対戦校 水戸農
- ・ 日時 7月15日(土) 10時
- ・ 球場 ノーブルホームスタジアム水戸

## 主将 村田 遼真

#### —茨城大会に向けた決意—

主将の村田遼真です。日頃より水戸一高硬式野球部への応援や支援を頂き本当にありがとうございます。



夏の茨城大会まで残りわずかとなりました。昨年の7月16日に新チームが始動してから約一年、春には新たに一年生が加わり31人のメンバーで甲子園出場を目標に日々励んできました。このチームは攻守の均衡がとれており、勢いのあるエネルギーなチームです。特に打撃に関しては甲子園レベルのピッチャーに打ち負けない打線を目指し、冬の時期から基礎に立ち返ってドリルメニューを繰り返し行い、一人一人が意識を高く持って振り込んできました。また、練習試合では勝ちグセをつけることをテーマにし、一試合目はもちろんの事、疲労がたまっていく二試合目の後半にこそ、一つの打席・守備機会を無駄にせず全員で一球に集中することを大事にしてきました。秋、春のリベンジを果たすべく、最後の夏に向け着実にステップを踏みチームが一つになってきています。

今年の初めに県の部活動改革の方針により急激に練習時間が制限されることを知り、一時は戸惑うこともありましたが、自分たちの思いが伝わり、今まで通り実のある活動を現在も継続できています。支えてくださったOBの皆様や保護者の方々には、心より感謝いたします。こうして日々野球に打ち込んでいることへの喜びや感謝の気持ちを忘れず、期待に応えられるよう全力でプレーします。

自分にとってこの大会が甲子園へのラストチャンスです。約二年半の高校野球生活で学んだ多くの事、積み重ねてきた努力の集大成を懸け、キャプテンとして役割を果たしチームを勝利に導きます。そして結果を残し、強い水戸一高野球部の伝統を紡いでいきたいです。このチーム、このメンバーで野球ができる残り少ない時間を大切に、一分一秒に魂を注ぎ最後の最後まで「一球入魂」で駆け抜けます。応援宜しくお願いいたします。

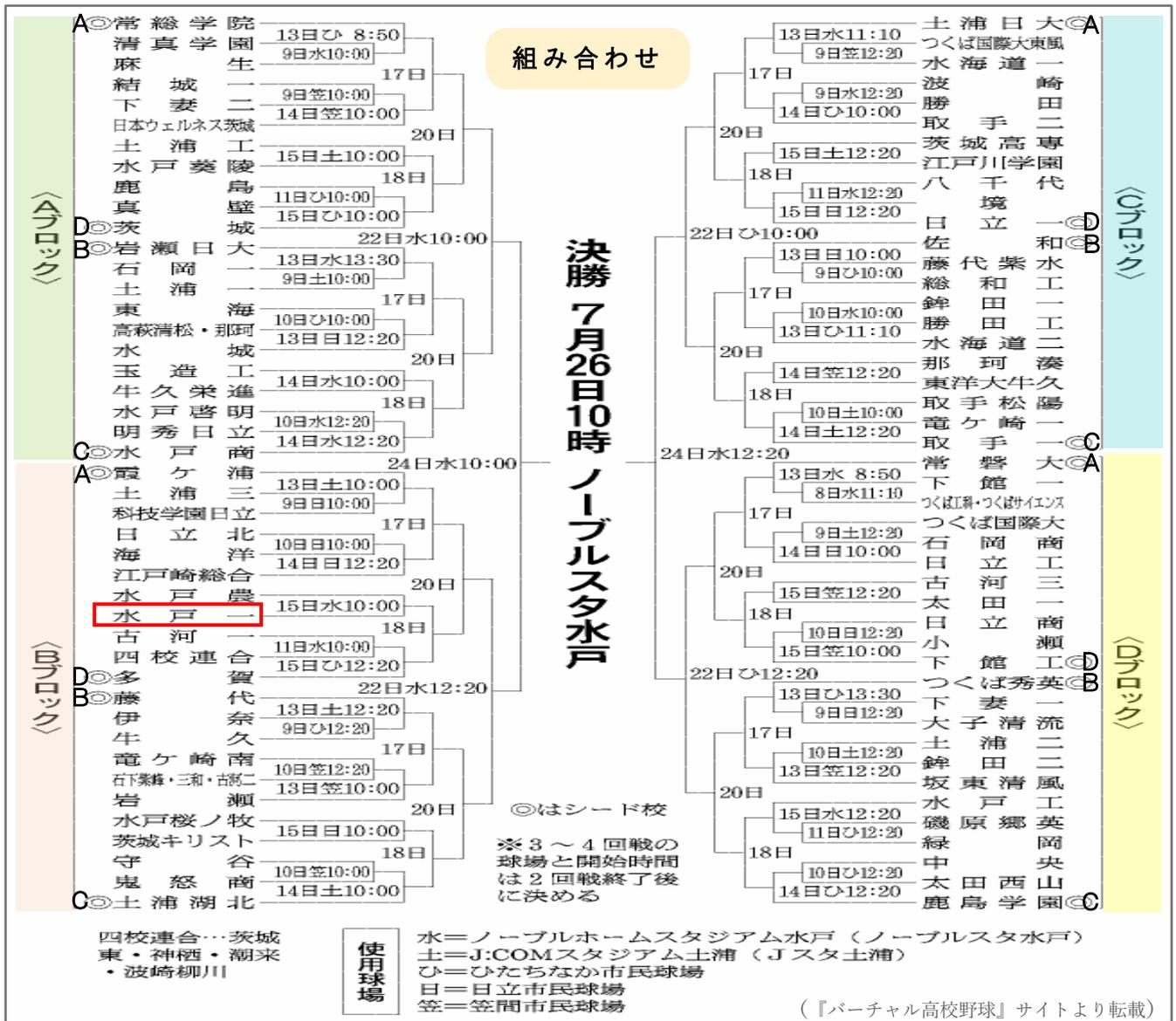
全試合ライブ配信

地方大会を含む全試合が「バーチャル高校野球」サイトでライブ配信されます。スマホやPCで視聴できます。

バーチャル高校野球

🔍 検索





## 4. 硬式野球部 名簿

	部長	監督	コーチ	顧問	
	 <b>井坂 拓海</b> 社会（地理）	 <b>木村 優介</b> 体育	 <b>高橋 直樹</b> 野球部OB	 <b>小島 淳</b> 国語	 <b>野々下 奈都子</b> 英語
三年生	 <b>村田 遼真</b> 緑岡中 内野手・投手 右投・右打	 <b>井澤 更紗</b> 友部中 マネージャー	 <b>関 琢未</b> 那珂四中 投手 右投・右打	 <b>平塚 惇和</b> 友部二中 内野手 右投・右打	 <b>三浦 太輝</b> 駒王中 外野手 右投・右打

二年生



秋田 悠人  
美野里中  
捕手  
右投・右打



江口 倅大  
東海中  
投手・外野手  
右投・右打



大内 健太郎  
勝田一中  
外野手  
右投・右打



大内 康聖  
那珂湊中  
外野手  
右投・右打



小川 永惺  
世矢中  
投手・外野手  
右投・右打



鈴木 裕斗  
城西中  
内野手・投手  
右投・右打



副主将

園部 晴大  
勝田二中  
内野手  
右投・右打



副主将

津田 誠宗  
茨城大附属中  
内野手・外野手  
右投・右打



鳥羽田 士恩  
茨城大附属中  
外野手  
右投・左打



星 数馬  
茨城大附属中  
内野手  
右投・左打



松川 航大  
美野里中  
内野手・投手  
右投・右打



宮川 陽充  
友部中  
外野手  
右投・左打



副主将

渡辺 悠太  
双葉台中  
外内野手・投手  
左投・左打

一年生



浅野 光春  
大野中  
外野手  
右投・右打



大沢 凜太郎  
下館中  
内野手  
右投・右打



岡野 梨渚  
府中中  
マネージャー



小黒 瑞貴  
笠原中  
外野手  
右投・左打



小原 将義  
大宮二中  
捕手・外野手  
右投・右打



川上 敬太郎  
那珂湊中  
内野手  
右投・右打



古宮 寛之  
下根中  
投手・外野手  
右投・右打



田中 宏樹  
水戸四中  
捕手・投手  
右投・右打



手塚 爽太  
大子西中  
内野手  
右投・右打



戸田 然  
玉里学園  
外野手  
右投・左打



埴 竜太郎  
金砂郷中  
外野手  
右投・左打



松崎 結愛  
友部中  
マネージャー



米川 惟希  
水戸四中  
投手・外野手  
右投・右打

6月24日  
激励会



6月17日  
3年生父母  
必勝祈願  
吉田神社

## II シリーズ「大学野球を目指す後輩部員たちへ」

### 檜山 駿太 令和4年卒

こんにちは。一橋大学経済学部1年の檜山駿太です。現在私は東都大学野球リーグに所属する一橋大学硬式野球部で主に外野手としてプレーしています。弊部は現在同リーグの3部に所属しており、3部優勝、2部昇格を目標に日々練習に励んでいます。

一橋大学硬式野球部では週に5日（月・木が基本オフ）活動しており、平日は午後練、土日は午前練という形で練習しています。全体練習以外



にも各自が時間を捻出して自主練習やウエイトトレーニングなどを精力的に行っています。

弊部は学生体制により運営されており、監督やコーチは基本的に学生が務め、練習メニューやメンバー決めなどをすべて学生が行っています。

今回、大学野球と高校野球の違いについて私自身が感じたことを記したいと思います。まず大きく変わるののはリーグ戦であるということです。多くの場合シーズンで同じリーグ内のチームと総当たりで対戦し勝ち点で順位が決定されます。同じ相手と毎シーズン戦うことになるので相手の分析は高校野球以上に綿密

に行われ、相手の弱点を突く作戦や配球、打者の特徴に応じた守備位置をとることなどさまざまな面においてデータが参考にされます。相手も自分たちの特徴はわかっている弱点を突いてくるので、自己と向き合い弱点を克服することが求められます。

もう一つの特徴は、大学によるかもしれませんが、時間の自由度が格段に大きくなることです。大学では時間割をある程度自由に決めることができます。そして空いた時間を活用しアルバイトや自主練、ウエイトトレーニングなど自分の好きなように時間が使えるようになります。個人的にはこの時間をいかに有効に使うかを重視していて、今は身体づくりとメカニクスを意識したバッティングフォームの形成に取り組んでいます。高校野球で学んだ野球に向き合うマインドや体の動かし方に関する知識、練習方法などがここに生かされていると感じます。

高校野球はあっという間です。そしてまた高校野球の3年間で得たものは有形無形ともにとっても大きなものとして私の中に残っています。日々の練習を大切に、やるべきことを明確にして頑張ってください。水戸一高硬式野球部の良い結果が聞けることを楽しみにしています。

最後になりますが、このコラムを通して大学野球に少しでも興味を持ってくださると嬉しいです。一橋大学硬式野球部で待っています。

## III 令和5年度前半活動報告

前会報第30号（令和5年3月1日発行）以降の活動状況と野球部に関わる動きを時系列的に報告します。

（1）昨年から導入された特色選抜入試の効果もあり、今年は13名（内マネージャー2名）が入部し、総勢31名（内マネージャー3名）となりました。

（2）春季大会では県大会へ出場し、三回戦まで進んだものの岩瀬日大高に敗れました。茨城大会での活躍に期待します。

（3）これまで6月に開催してきた総会（令和2～4年は書類郵送方式）は、開始以来15年間の実態を考慮し、従来の対面方式から活動報告と決算報告を郵送する方式に変更させていただきました。また、会報の発行時期も見直し、従来の9月1日発行を7月1日発行に前倒しすることにしました。これは年間最大のイベントである7月開催の茨城大会の応援機運を盛り上げるためです。（3月1日発行は変更しません。）なお、令和3年から実施してきた一部の会員宛での会報配信は取りやめ、すべて郵送でお届けすることにしました。会員の皆様のご理解をお願いいたします。

## 事務局長 森 利克

（4）野球部からの要請により、5月8日に新しい冷蔵庫を製氷備品を含めて贈呈しました。夏本番に向かって活用され始め、父母の会からも感謝の意が届いています。

（5）5月13日（土）に開催された父母の会総会で当倶楽部を紹介し、関係者への入会案内配布をお願いしました。

（6）6月17日（土）には水戸市の吉田神社（常陸三宮）で茨城大会に向けた必勝祈願が父母の会主催で行われました。水府倶楽部とともに協賛し参列してきました。

（7）3月以降は別表に示した4名の方々に入会いただきました。よろしくお祈りします。

（8）東北、北海道地区には現在会員がいませんので、北海道テレビ報道局でご活躍中の昭和57年卒大藤晋司氏に当倶楽部の紹介文と入会案内を郵送し、知道会会員への広報をお願いしました。氏は令和3年7月3日（土）の茨城新聞の茨城論壇に「郷土愛を呼ぶ高校野球」と題する記事を寄せられ、この年の春の県大会で45年ぶりに4強入りしてBシードで迎える母校を含む全ての球児が明朗闊達に白球を追う姿を北海道から祈っておられました。

(9) 4月に着任された御厩校長先生を6月9日(金)に訪問し、ご挨拶と三の丸倶楽部の活動を紹介してきました。

(10) 4月から企画を始めた本会報31号をお届けしました。前・新校長先生および新顧問の先生方からはご挨拶を、監督および主将からは茨城大会に向けた決意を寄せていただきました。また、シリーズ記事「大学野球を目指す後輩部員たちへ」では、東都大学野球連盟リーグ三部に所属する一橋大学硬式野球部で活躍を始めた檜山駿太さん(令和4年卒)に寄稿いただきました。一昨年の春季県大会準々決

勝対藤代戦で勝利につながった好リリーフ、茨城大会三回戦(対日立一)におけるライト柵越えのスリーランは今でも記憶に残っています。なお、一橋大学では、平成17年卒の澤幡正志さんがエースとして活躍し、連盟の最高殊勲選手や最優秀投手にも選ばれました。

新入会員(令和5年4月以降確定分)

No	氏名	居住地	備考
1	大井 健史	流山市	知道会会員(平成元年卒)
2	高村 祐一	常陸大宮市	知道会会員(昭和57年卒)、前校長
3	鶴田 孜	横浜市	知道会会員(昭和38年卒)
4	塙 隆之	松戸市	知道会会員(昭和63年卒)

## IV Topic: 水戸一高附属中1年生に対する講演を行いました

### 船橋 信正

水府倶楽部(水戸一高硬式野球部OB会)幹事長

4月28日、水戸一高附属中の1年生80人に対し、飛田穂洲先生や水戸一高硬式野球部の歴史について講演をする機会がありましたのでご報告いたします。

この日は、1日かけて母校について学ぶという学校行事「全日探究」が行われました。4人の講師が、水戸城の歴史や遺構、自然環境、水戸一高出身の人物や歴史などについて講演するというものです。私からは、日本の野球の発展と飛田穂洲先生の関わり、その土壌となった水戸一高硬式野球部の歴史などについて約1時間講演しました。中学1年生にも分かりやすく伝えるよう、動画や写真を用いながら解説したのですが、生徒たちは思った以上に熱心に話を聞いてくれました。



この講演を行ったからといって、将来の水戸一高硬式野球部員が増える、という効果まではさすがに期待できませんが、野球そのものや水戸一高硬式野球部への関心を高めることはできたのではないかと考えています。

このような機会を設けてくださった御厩校長先生はじめ母校の先生方に感謝するとともに、今後もこのような活動を通じて、少しでも水戸一高硬式野球部への理解や共感を高めていきたいと考えています。

## V 試合結果

### 令和5年 春季大会

**地区代表決定戦** 令和5年4月13日(木)  
 球場:ノブルホームスタジアム水戸(L100m・C122m・R100m)  
 天候:快晴 試合時間:1時間22分(12:47~14:09)  
 \*清原・波崎柳川・潮来

	1	2	3	4	5	R
三枝連合*	0	0	0	0	1	1
水戸一	3	2	2	0	4x	11

**4月13日 ノブルホーム水戸**

1番	セカンド	園部	(2年)
2番	ショート	津田	(2年)
3番	キャッチャー	秋田	(2年)
4番	サード	村田	(3年)
5番	ファースト	松川	(2年)
6番	センター	渡辺	(2年)
7番	ピッチャー	小川	(2年)
8番	レフト	大内(健)	(2年)
9番	ライト	鳥羽田	(2年)

三塁打:小川(3回) 大内(健)(3回)  
 二塁打:秋田(5回)  
 単塁打:村田(1回) 松川(1回・2回・5回) 大内(健)(1回) 津田(2回) 大内(康)(3回) 渡辺(4回) 小川(5回) 鳥羽田(5回)

**県大会二回戦** 令和5年4月23日(日)  
 球場:笠間市民球場(L95m・C120m・R95m)  
 天候:晴 試合時間:1時間55分(12:36~14:31)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
日立商	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
水戸一	0	0	0	1	0	2	0	0	X	3

1番	セカンド	園部	(2年)
2番	ショート	津田	(2年)
3番	キャッチャー	秋田	(2年)
4番	サード	村田	(3年)
5番	ファースト	松川	(2年)
6番	センター	渡辺	(2年)
7番	9回2/3ライト	小川	(2年)
	ピッチャー		
8番	9回2/3センター	レフト	大内(健) (2年)
9番	ライト	大内(康) (2年)	
	9回2/3ピッチャー	江口	(2年)

三塁打:津田(8回)  
 単塁打:渡辺(2回) 津田(4回) 松川(4回・6回)

**県大会三回戦** 令和5年4月29日(土)  
 球場:Jcomスタジアム土浦(L99m・C122m・R99m)  
 天候:曇・風 試合時間:1時間26分(12:27~13:53)

	1	2	3	4	5	R
水戸一	0	0	0	0	1	1
岩瀬日大	4	1	0	1	5x	11

1番	セカンド	園部	(2年)	7番	ピッチャー	小川	(2年)
	5回1/3セカンド	大沢	(1年)		5回センター		
2番	ショート	津田	(2年)	8番	レフト	大内(健)	(2年)
3番	キャッチャー	秋田	(2年)		5回ピッチャー	江口	(2年)
4番	サード	村田	(3年)	9番	ライト	大内(康)	(2年)
	5回1/3ピッチャー				5回レフト		
5番	ファースト	松川	(2年)				
6番	センター	渡辺	(2年)				
	5回ライト						

二塁打:渡辺(5回)  
 単塁打:園部(4回) 松川(5回) 小川(5回)



4月23日 県大会二回戦勝利 笠間市民球場

令和5年 水無月杯

一回戦	令和5年5月27日(土) 球場:水戸啓明野球場(R95m) 天候:快晴 試合時間:1時間28分(14:29~15:57) *那珂・高萩清松					
	1	2	3	4	5	R
二校連合*	2	0	0	1	0	3
水戸一	2	0	0	3	8x	13x
1番	センター	浅野	(1年)			
2番	セカンド	大沢	(1年)			
3番	ショート	村田	(3年)			
4番	キャッチャー	小原	(1年)			
5番	ライト	宮川	(2年)			
6番	ファースト	渡辺	(2年)			
7番	サード	鈴木	(2年)			
8番	ピッチャー	古宮	(1年)			
9番	レフト	鳥羽田	(2年)			
	5回代打	三浦	(3年)			

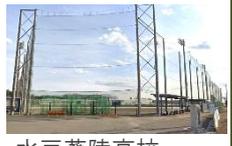
本塁打:村田(4回ソロ・5回ランニングスリラン) 浅野(5回ツラン)  
三塁打:宮川(4回)  
単塁打:浅野(1回・5回) 鈴木(4回) 宮川(5回) 渡辺(5回) 古宮(5回)

【水無月杯参加 15チーム】 水戸農 中央 ウェルネス 水戸葵陵 水戸工 緑岡 水戸桜ノ牧 水戸啓明 茨城 水戸一 二校連合(那珂、高萩清松) 水城 4校連合(茨城東、神栖、潮来、波崎柳川) 水戸商 常磐大



二回戦	令和5年5月28日(日) 球場:水戸葵陵高野球場(L100m・C122m・R100m) 天候:曇 試合時間:2時間10分(12:25~14:35)										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	
水戸一	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	
茨城	1	0	2	0	0	1	3	0	X	7	
1番	センター/8回レフト	浅野	(1年)								
2番	セカンド	大沢	(1年)								
3番	レフト/7回ライト	宮川	(2年)								
	7回2/3レフト										
4番	8回ピッチャー	米川	(1年)								
5番	ショート	村田	(3年)								
	ファースト	星	(2年)								
6番	6回代走/6回サード	園部	(2年)								
7番	キャッチャー	小原	(2年)								
	サード/6回ファースト	鈴木	(2年)								
8番	7回ファースト	松川	(2年)								
9番	ピッチャー/7回2/3ライト	渡辺	(2年)								
	レフト	大内(健)	(2年)								
	7回代打	戸田	(1年)								
	7回レフト	塙	(1年)								
	7回2/3ピッチャー/8回センター	古宮	(1年)								
	9回代打	三浦	(3年)								

三塁打:小原(8回) 二塁打:村田(1回)  
単塁打:小原(4回) 渡辺(7回) 園部(8回)



水戸葵陵高校  
グラウンド  
(水戸市高田町)



令和5年前半 (3/4~6/25) 練習試合結果

月	日	球場	結果	備考
3	4	太田西山	△5-5 太田西山	
	5	栃木農	○16-3 栃木農	
			○18-6 "	
	12	龍ヶ崎一	○13-4 御殿場	静岡県立
	19	水戸一	○4-3 湯本	福島県立
			●6-7 "	
	21	勝田	●3-4 勝田	
			○10-2 "	
24	関東一	●0-4 関東一		
27	ノブルホーム水戸	○19-5 札幌南	北海道立	
28	ノブルホーム水戸	○8-3 札幌南	栃木県立	
		○11-3 真岡		
4	1	向上	●11-37 向上	
	2	日大第二	●0-6 日大高	北海道立
			○7-5 札幌新川	
	5	ノブルホーム水戸	○7-4 日立北	
			●10-12 "	
	9	勝田工	○10-1 勝田工	一年生・3回終了
●3-7 "				
		●13-17 "		
16	水戸葵陵	●1-2 水戸葵陵		
5	3	水戸農	○4-1 不動岡	埼玉県立
			●0-3 " (3回終了)	
			○19-6 "	
	5	宇都宮	●4-14 宇都宮	栃木県立
			●6-7 "	
7	水戸一	○22-13 緑岡		
20	小山西	○4-3 小山西	栃木県立	
		●20-24 "		
21	小山	●4-6 高崎商	群馬県立	
		●0-6 小山	栃木県立	
6	4	石橋	○9-3 高崎経大附属	栃木県立
			△2-2 石橋	
	11	磐城	●5-7 磐城	福島県立
			●1-7 "	
	19	岩瀬日大	●9-17 岩瀬日大	
●9-21 "				
20	作新学院	△8-8 作新学院		
25	水戸農	●4-7 (1・3年生) 匠瑳	千葉県立	
		●6-14 "		
	浦和学院	●0-14 (2年生) 浦和学院		

令和5年度後半 公式戦日程

月	日	曜	予定	備考
7	8	土	選手権茨城大会開幕	
	26	水	" (決勝)	
	31	月	秋季地区一次予選抽選会	
8	6	日	全国選手権大会開幕	
	21	月	秋季地区一次予選	
9	5	火	秋季地区二次予選抽選会	
	8	金	秋季地区二次予選	
	12	火	秋季県大会抽選会	
	15	金	秋季県大会開幕	
	20	水	秋季県大会開幕	
10	1	日	" (決勝)	
	21	土	秋季関東大会開幕	栃木県
	29	日	" (決勝)	

三の丸倶楽部

顧問:稲葉 節生 (元茨城県教育長、知道会会長)  
 会長:鬼澤 邦夫 (常陽銀行元会長)  
 事務局長:森 利克  
 幹事:照沼 貞夫 (H20年卒父母の会)  
 鹿島 陽夫  
 船橋 信正 (水府倶楽部幹事長)  
 飯田 芳久  
 高村 純平 (R5年卒父母の会) 新任

==== 会員を募集しています ====

- ◇どなたでも入会できます。
- ◇特典:会員帽子の配付(入会時)、会報(年2回)の送付、ホームページ「試合予定」・「試合結果」詳細の閲覧など
- ◇年会費:一口 3,000円(何口でも可)
- ◇振込先:常陽銀行本店営業部  
普通 2945619  
サンノマルクラブ カイケイ カシマタカオ
- ◇手続き:氏名、住所、電話番号、メールアドレスを下記までご連絡ください。  
森利克 TEL :090-3315-1351  
E-mail :mfhsbcba@net1.jway.ne.jp  
又はホームページ(http://sannomaru-club.com)からご連絡ください。



編集後記 新型コロナの終息は見えないが、5類感染症への移行に伴い日常が戻りつつある。久しぶりの一般開放となった6月17,18日の学苑祭は大いに賑わい、マスク無しの方が目立った。今年の夏の県大会も開会式、応援等すべてが通常に戻る。一高の初戦は7月15日ノブルホーム水戸、ノーマスクで全力応援を。(照沼)